

戸田市審判講習会

主 催 戸田市テニス協会

日 時 平成 17 年 4 月 24 日 (日)

18 : 00 ~ 20 : 00

会 場 戸田市スポーツセンター (アリーナ)

講 師 佐藤恵子、宮川美知子

埼玉県テニス協会審判委員会

内 容 講義 基本的なルール

セルフジャッジの試合について
マナーについて

実技練習 セルフジャッジの試合におけるトラブル

質疑応答

マナー

2005年版「コートの子」より一部抜粋

- (1) 「テニス規則」、「トーナメント諸規則」（「倫理規程」を含む）を正しく理解しましょう。
- (2) 観客、スポンサー、メディア、トーナメント関係者に対して礼儀をつくしましょう。
- (3) トーナメント開催要項に記載されている事項をよく読んでから、参加申込をしましょう。
- (4) ダブルエントリーをしたときの、出場しない方のトーナメントへの出場辞退届け、病気やケガなどによる欠場届などは、決められた締切り日までに、できるだけ早く、また、まちがいなく行いましょう。

無断欠場などで、当該トーナメント関係者および出場選手に迷惑をかけないようにしましょう。

- (5) トーナメント主催者から要請された、そのトーナメントの公式行事（開・閉会式、表彰式、記者会見、パーティ等）には必ず出席しましょう。
- (6) 試合をするときの服装および用具については、「倫理規程」を守りましょう。
- (7) 試合中は、以下のとおりです。
 - ① 相手プレーヤーに不愉快な思いをさせないよう、言動に気をつけましょう。
 - ② フェアプレーの精神でベストを尽くし、正々堂々と戦いましょう。
 - ③ 隣合ったコートで共に試合が進行しているときは、隣コートのプレーヤーのプレーを妨げないよう気をつけましょう。
 - ④ 審判員に対して質問したり確認を求めるときは、節度ある態度をとりましょう。

（コートの友2004年版より追加）

- ・ トーナメント日程の途中で棄権しなければならないようなトーナメントには始めから参加すべきではありません。
- ・ 定められた時刻への遅刻には、いかなる理由も通らないことを知っておきましょう。
- ・ 都合でトーナメント会場を離れる場合は、事前に、必ずレフェリーに連絡しておきましょう。
- ・ ボールの落下地点を調べるために相手側のエンドへ立ち入ることや、20秒ルールを故意に時間一杯使うことなども、あなたの人格を問われることになります。
- ・ ダブルスでサーブするとき、レシーバーのパートナーがセンターサービスラインを越えたり、ネットぎわで激しく動き回るなどしてサーバーを幻惑する行為は大きな音をたてない限り、規則違反にはなりません。サーバー側がとるオーストラリアン・フォーメーションとは根本的に異なる見苦しい行為なので慎みましょう。
- ・ ご観戦の試合の、ラインジャッジ等の判定に関して、口出しすることをお控えください。

アンパイアのつかない試合規則

I. 目的

II. 適用

III. 規則

1. トーナメント主催者の義務

1-1. ローピングアンパイア(Roving Umpire)の設置

トーナメント主催者は、その規模、会場のレイアウト等の条件に応じ、相当数のローピングアンパイアを置かなければならない。

(注) 最低2コート、最大4コートに1名のローピングアンパイアが望ましい。

1-2. ローピングアンパイアの権限と責任

ローピングアンパイアは、担当するコートのそれぞれの試合が、問題なく円滑に推移しているときは、コート外を巡回しながらそれぞれの試合を管理し、問題ありと判断するか、プレーヤーから呼ばれたときのみコート内にはいる。

ローピングアンパイアは、担当するコートに立ち(コート内外に関係なく)、その試合を見ているという前提で、次の作業を遂行する権限と責任を有する。

(1) 不正確な判定をオーバールールする。

(注) 明らかにグッドのボールをアウト(またはフォールト)とコールした選手をオーバールールし、そのプレーヤーを失点にする。

明らかなアウト(またはフォールト)のボールをそのまま返球した選手に代わって「アウト(またはフォールト)」をコールする。

(2) 次項2-2.(2)および次々項2-3記載の事項が守られているかを監視し、不十分な場合はそ 指導する。

(3) 明らかなフットフォールトをコールする。

(4) 倫理規程違反を監視し、違反者に罰則を科す。

ただし、失格に関してはレフェリーの裁定を仰ぐ。

(5) コートが試合に適しているかどうかを、適宜チェックし、必要ならレフェリーの指示を仰ぐ(次項2-1.(1)記載の事項に問題ないか、降雨による中断、照明点灯の判断等)。

2. 選手の義務

2-1. 試合まえに

(1) 「ネットの高さは正しいか」、「シングルス・スティックが立っているか」等、コートが試合に適しているかどうかをチェックする。

(2) ウォームアップのまえに、トスをする。

2-2. 判定とコール

(1) ネットより自分の側に関する判定は、すべて自分の責任である。

(注1) 自分で判定できなかったときは、そのボールはグッドである。ただし、相手にその判定に関してアドバイスを受けてもよいが、相手のそのアドバイスは最終となる。決して観客の助けを借りてはならない。

(注2) コートのサーフェスが何であろうと、この規則ではボールマーク調査は行えない。

(2) 判定とコール(「アウト」、「フォールト」等は、瞬間的に、また、相手に聞こえるような声と、明確なハンドシグナルで行わなければならない)。

(注1) シングルスときは、一旦「アウト(またはフォールト)」とコールし、それを「グッド」と訂正した場合、そのプレーヤーは失点する。

ダブルスのときの判定とコールは、ペアのいずれか一方が行えば、それが最終となる。ただし、ペアの一方が「アウト」(または「フォールト」等)とコールしたがそのパートナーが「グッド」とした場合、そのペアは失点する。ただし、一方が「フォールト」とコールしたが、パートナーが「(サービスの)レット」とした場合は「(サービスの)レット」となる。

(注2) 「明確なハンドシグナル」とは、片方の手をアウト(またはフォールト)した方へ指し示すものとする。

(注3) 相手選手の言動やコール等に疑問、あるいは不服があるときは、レフェリー(またはローピングアンパイア)に申し出る。

2-3. スコアのアナウンス→サーバーの義務

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まるまえには、サーバーは、かならず、レシーバーに聞こえるように大きな声で、スコアをアナウンスしなければならない。

(注1) レシーバーは、サーバーのスコアアナウンスに対して、同意を示すために声(「OK」、「ハイ」等)またはジェスチュア(「大きくうなづく」、「手をあげる」等)によって、合図をサーバーに対して送らねばならない。

(注2) スコアアナウンスの例を以下に示す。

① 新しいゲームの始まるまえに、サーバーはかならずそれまでのゲームスコアをアナウンスする。

[例]「4-3(フォー・スリー)、A」(Aが4-3でリードしていることを示す。)

② ポイントのスコアアナウンスは、アンパイアと同じでよい。ただし次のポイントが始まる直前にアナウンスする。

[例]「15-0(フィフティーン・ラブ)」

③ タイブレークのときも、アンパイアのアナウンスと同じでよい。

[例]「3-0(スリー・ゼロ)、A」

④ 新しいセットに入ったときは次のようにする。

[例]「1stセット、A、7-5、2stセット、B、6-3、ファイナルセット」

2-4. スコアがわからなくなったとき

(1) スコアがわからなくなったときは、双方のプレーヤーが合意できるスコアまで遡り、そのスコアに、合意できたそのスコア以降、スコアがわからなくなったポイントまでの間で、双方が合意できるそれぞれが取ったポイントを足したスコアから再開する。

再開するときサーブするコート(右コートか左コートか)は、再開時のポイントスコアに準ずる。

[例] あるゲーム、第6ポイントが終わったところで、ゲームかデュースかでもめたとする。この時点では、少なくとも第6ポイントをどちらが取ったかははっきりしているはずである(例えば、ここではサーバーAが取ったとしておく)。A、B協議した結果、15オールであったことは確認できたが、そのあとが不明であったとすると、この15オールを有効とし、これに第6ポイントを取ったAに1ポイント加えた30-15からゲームを再開するのである。

(2) ゲームスコアがわからなくなったときも、前項に準じて処理する。

再開ゲームのサーバーは、再開ゲームの1つまえのゲームのレシーバーである。

このことにより、場合によっては、再開ゲーム以前まで保たれていたサービスの順番が狂うことが起こるが、これはやむを得ないものとする。

ダブルスについては、サーブする順番のペアの、再開ゲーム以前のゲームで最後にサーブしたプレーヤーのパートナーがサーバーとなる。

2-5. サービスのレット

レシーバー(ダブルスの場合、そのパートナーも含む)のみがレットをコールでき、サーバーにはその権利はない。

誤ってサーバー(ダブルスの場合、いずれかのプレーヤー)がサービスのレットをコールしたときは、そのコールにかかわらずプレーが続きポイントが終了した場合、そのポイントは成立する。そのコールによってプレーが停止された場合は、サーバーの失点となる。レシーバーがそのコールに同意した場合は、サービスのレットとなる。

2-6. フットフォールト

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯していると判断したときは、すみやかにレフェリー(またはロービングアンパイア)を呼び、事情を説明して、善処してもらうことができる。

2-7. コートを離れたいとき

(1) 様々な理由により、試合中、一時コートを離れなくなったときは、まず、相手にその理由を明確に説明し、その同意を得なければならない。

(注) 様々な理由とは、トイレ・ブレイク、飲物等の補給、着衣の突然の不良化等々、その選手の不可抗力による状況のことを言う。

(2) 相手が同意しない場合は、レフェリー(またはロービングアンパイア)を呼ぶことができる。

2-8. 妨害

第1サービスがフォールトし、第2サービスを行うまでに、他コートからボールが侵入して来るなど、なんらかの妨害が起こった場合は、サーバーがレディポジションを取った以降にこの妨害が起こったときは第1サービスが与えられ、それ以外のときは第2サービスを行わねばならない。

2-9. 持物を落とす

ポイントが終了したあと、ラケットを除く着衣持物を地面に落としたことに気がついた場合は、そのポイントは成立し、着衣持物を落としたことにはしない。

2-10. レフェリーを呼ぶとき

規則の法的解釈等、選手同士で解決できないような紛争発生の場合、いずれの選手もレフェリー(またはロービングアンパイア)を呼ぶことができる。

ただし、レフェリーを呼びたい選手は、次の手続きをとらねばならない。

(a) 相手方にレフェリーを呼ぶ旨通告する。

(b) そのあと、コート外の第三者に、レフェリーにコートへ来てもらうよう依頼し、当人はコートに残る。

(c) 依頼すべき第三者が不在の場合は、相手方への通告後、コートを離れてもよいが、その行動は迅速に行わなければならない。

2-11. 試合が終了したら

勝者はただちにスコアを大会本部に報告し、あわせて使用済みボールを返却しなければならない。

2-12. 罰則

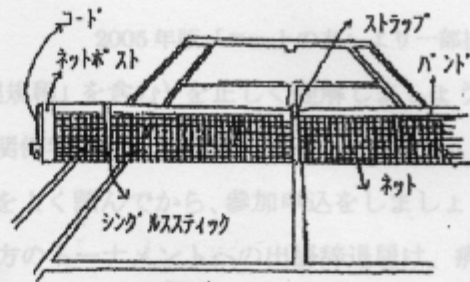
本規則に違反したものは、警告を受けた後、ポイントを失ったり、場合によっては、失格になることがある。

ルール基本問題

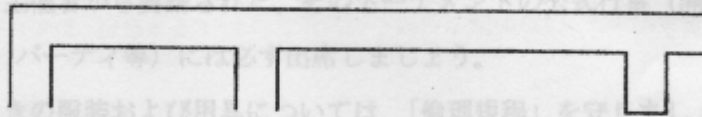
・・・セルフジャッジの試合において・・・

★ 右図の矢印部分の名称は覚えておきましょう

★ 下記設問の () 内に○または×を記入してください。



1. 明らかにグッドのボールを「アウト」とコールしたため、ロービングアンパイアにオーバールールされた選手は必ず失点する。()
2. シングルス、ダブルスともサービスをする時はベースラインの後方なら、どこからでも出来る。()



3. ネットの高さは中央において _____ cm。
4. トスに勝った選手が「私はこちらからサービスをする」と言った。()
5. 相手の打ったボールがインかアウトかわからないでいたら観客が「アウト」と教えてくれたのでアウトにした。()
6. クレーコートの試合で相手選手の「アウト」コールを不服に思い、ボールマークを指し示してくれるように要求した。()
7. ダブルスの試合でペアの一方が「アウト」(または「フォールト」)とコールしたが、そのパートナーが「グッド」とした場合、そのペアは失点する。()
8. ゲーム中にスコアがわからなくなり中断した。双方とも絶対に譲らないので、そのゲームを最初からやりなおした。()
9. セルフジャッジの試合で、サーバー側なのにうっかりサービスのレットをコールしたが、そのままプレイが続いてサーバー側がポイントを取った。ラッキーと思ったら相手に「さっきレットコールしたから失点」と言われた。()
10. 相手コートに隣のコートからボールが入ってきたので「タイム、タイム」と言ってプレイをとめたら「自分側のコートに入っていないのにとめられたから失点ね」と言われた。()